

NHO フェローシップ プログラム申請書

1. 研修プログラム名：臨床神経学基礎研修プログラム
病院名：東埼玉病院
2. 診療科（専門領域）：神経内科
3. コースの概要
留学期間中、神経内科にて神経疾患症例を経験し、神経疾患の診療経験を深めるとともに、汎用性が高い臨床神経学のみかたと考えかたを身につける。
4. 目標
 - ・臨床神経学の基礎的な知識と診察技術を習得する。
 - ・一般内科医が遭遇することが多い神経疾患の診断と治療を経験する。
 - ・総合診療や全人的医療に応用できる、汎用性が高い臨床神経学のみかたと考えかたを身につける。
 - ・病歴と診察所見から、患者の病態と日常生活を推察し、医学上および療養上の問題点を抽出して、的確な治療や療養上の助言をできるようになる。
 - ・病や障がいをもちながら生活する患者の日常を支える医療を経験し、医師としての自らのあり方を思索する。
5. 取得手技
 - ・臨床神経学の基礎的な知識と診察技術を習得し、局在診断と質的診断から、大まかな病態の推定と診療方針の策定ができるようになる。
 - ・種々の検査の意義と限界を学び、その実施および結果を判断できるようになる。
 - ・神経内科以外を専攻する予定の研修者は、神経内科専門医への適切なコンサルテーションの対象とその時期を判断できるようになる。
6. 研修期間：3～6か月
7. 募集人数：同時期に2名まで

8. 診療科の実績

主要疾患	入院数（年間）
筋疾患（筋ジストロフィー，筋炎等）	290
筋萎縮性側索硬化症	25
多系統萎縮症	30
脊髄小脳変性症	35
パーキンソン病関連疾患	40
ニューロパチー	15
プリオン病	5

9. 診療科の指導体制

医師数 常勤 8名，期間医師 1名，非常勤 1名

指導にあたる医師 6名

主として研修指導にあたる責任医師 鈴木 幹也（経験年数 25年）

10. コンセプト

当科は神経難病と筋疾患の診療に重点を置き，その診断と治療に取り組んでいる。診断が難しい症例の病態解明，経過が長期にわたる神経筋難病の医学的治療から日常的ケアまでの多角的支援，治験を含む臨床研究，難病診療分野別拠点病院（神経・筋）としての行政への貢献に力を入れている。

当科での研修により，臨床神経学の基礎的な知識と診療技術が習得できるだけでなく，総合診療や全人的医療に応用できる汎用性が高い臨床神経学のみかたと考えかたを体得できる。

11. その他（研修関連情報など）

新患カンファレンス、回診（毎週月曜日の午後）

診療カンファレンス（平日の午後）

症例検討会（必要に応じて開催）

脳病理カンファレンス：brain cutting（必要に応じて開催）